

令和6年度 川越市こどもエコクラブ 活動報告書



令和7年3月
川越市環境部環境政策課

もくじ

◆はじめに

◆こどもエコクラブについて

こどもエコクラブってなに？	3
どんな活動をしているの？	4
登録するにはどうすればいいの？	5
全国にはいくつのクラブがあるの？	6

◆川越市の登録状況

令和6年度川越市の登録状況	7
川越市こどもエコクラブ登録数の推移	7
令和6年度こどもエコクラブ研修会	8

◆市内クラブの活動報告

ふくはら子どもエコクラブ	10
ワンダーなんだぁくらぶ	21

◆JEC 登録用紙



はじめに

平成7年度からスタートした「こどもエコクラブ」も、今年度で28年目を迎えます。その間、全国各地で数多くのこどもエコクラブが誕生し、サポーターと共にこどもたちが自主的に環境活動に取り組んできました。

令和6年度の全国におけるクラブ数は約2,400クラブ、メンバー数は約10万人を数えるまでとなりました。本市においても、令和6年度は4クラブ、38人がこどもエコクラブとして活動しました。

こどもエコクラブの活動がこれだけ続いてきたのは、こどもたちやサポーターの「環境に対する関心の高さ」や「環境について何か活動したいという気持ち」によるところが大きいと思います。しかし、その一方で「登録してもどんな活動をしてよいかわからない」「メンバーが卒業するとクラブの活動が停止してしまう」「中学生になると活動する時間がなくなる」などの声も聞かれます。

そこで、本市のこどもエコクラブの活動を取りまとめ、クラブの活動状況をいろいろな人に知ってもらい、さらに活発に環境活動を行ってもらうことを目的として、本報告書を作成しました。

こどもエコクラブの活動は、簡単なことから始めることができます。少しでも興味を持ったり、やってみたいと思った時には、ぜひ登録してクラブ活動に取り組んでみてください。

令和7年3月
こどもエコクラブ事務局
川越市 環境部 環境政策課



始めよう、こと



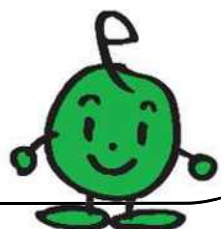


こどもエコクラブ

こどもエコクラブってなに？

こどもエコクラブとは、幼児（3歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動クラブのことです。学校のクラス、近所の友達、家族などが集まり、仲間と協力しながら地域の中で環境活動に自由に取り組みます。

こどもエコクラブ
キャラクター「エコまる」



こどもエコクラブ



こどもエコクラブって
どんな活動をしているの？

自分たちのできる身近な環境活動
に自由に取り組んでいます。



主な活動に「エコロジカルあくしょん」と「エコロジカルとれーにんぐ」の2種類があります。興味があるものに取り組んでみよう。

ウェブサイトに掲載されている全国のクラブの活動レポートも参考にしてくださいね！活動レポートをWebから提出すると、応援メッセージがもらえます。

活動は、年度のいつでも登録して活動をはじめることができます。

★ エコロジカルあくしょん

自分たちの興味や関心に基づいて自主的に行う活動で、生きもの調査、省エネ活動、リサイクル活動など環境に関することなら何でもOKです。

★ エコロジカルとれーにんぐ

こどもエコクラブのウェブサイトに掲載されている環境活動・学習プログラムに取り組む活動です。自分たちで活動のテーマが見つからない、何からはじめたらいいかわからないという人は、この「エコロジカルとれーにんぐ」から挑戦してみてください。

の活動について



メンバーに登録したいけど
どうすればいいの？

HP、郵送、メール等で登録できます。
詳しくはHP をみましょう。



① 一緒に活動するメンバーと活動を支えるサポーターを集めます。

(メンバー1名、サポーター1名の合計2名から登録可能です。)

※登録料、年会費などは一切かかりません。

② こどもエコクラブ全国事務局（以下、全国事務局）のHP から直接登録するか、登録用紙をダウンロードして全国事務局または地域事務局（川越市役所環境政策課）にメール・FAX・郵送で送ります。

★専門家からのアドバイスをもらおう！

ウェブサイトに活動レポートを投稿すると、環境活動に詳しい専門の先生からクラブ宛に励ましや助言のメッセージが届きます。

★アースレンジャー認定証をゲットしよう！

こどもエコクラブの活動を報告（HP より全国事務局へ報告または報告書を書いて川越市環境政策課へ報告）すると、スタンプがもらえます。1年間がんばって、スタンプを5個集めたメンバーには、「アースレンジャー認定証」が送られます。

活動を3年間継続すると銀バッジ、6年間継続すると金バッジをもらうことができます。

こどもエコクラブ



こどもエコクラブって全国で
いくつあるの？

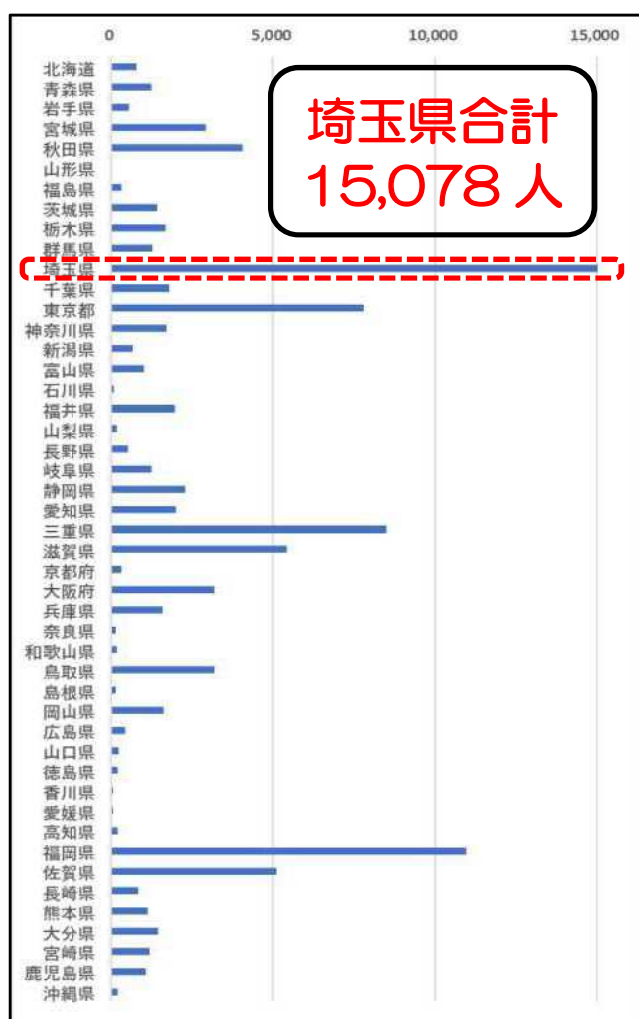
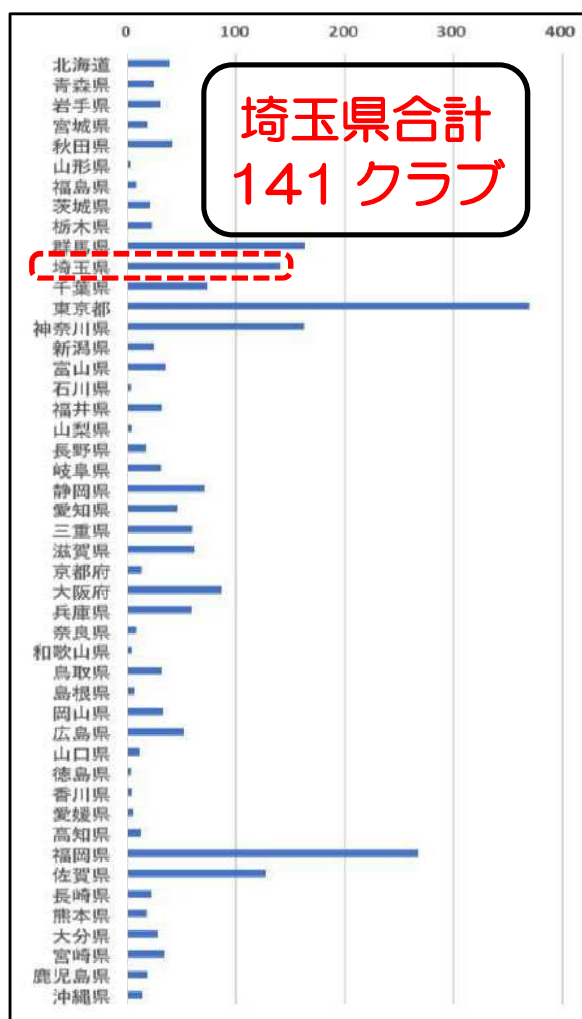
全国で2,378クラブ、97,772
名のメンバーが活動しているよ。



都道府県別の登録状況（令和7年2月28日時点）

【クラブ数】

【メンバー数】



の登録について



川越市ではどのような活動をしているの？

次ページより、市の研修会や各クラブの活動を紹介します。



川越市では、こどもエコクラブが発足した平成7年度より「こどもエコクラブ事業」を開始し、今年度（令和6年度）で28年目を迎えました。

令和6年度は4クラブ38人の皆さんに活動していただきました。

令和6年度川越市の登録状況（令和7年2月28日時点）

No.	クラブ名	構成	メンバー数 (人)	サポーター数 (人)
1	ふくはら子どもエコクラブ	家族・友達	18	5
2	A n g e l s	家族・友達	2	2
3	ワンダーなんだあくらぶ	家族・友達	16	18
4	ふくざわ	家族・友達	2	2

川越市こどもエコクラブ登録数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
クラブ数	3クラブ	2クラブ	2クラブ	2クラブ	4クラブ
メンバー数	22人	15人	16人	22人	38人

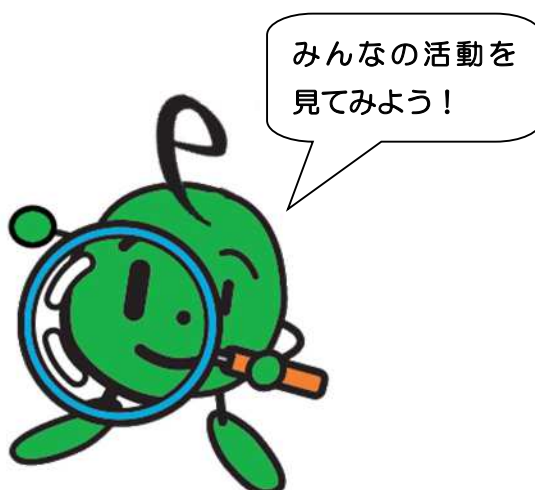
令和6年度 川越市こどもエコクラブ研修会



内 容	埼玉県立川の博物館見学	
日 時	令和6年8月21日（水） 9時30分～15時00分	
場 所	埼玉県立川の博物館（大里郡寄居町）	
参加者数	こどもエコクラブメンバー 10名・サポーター 1名 保護者 1名	
日 程	9：30 ウェスタ川越集合・出発 10：10 埼玉県立川の博物館到着 10：30 ガリバーウォーク（博物館職員による説明） 10：50 溪流観察窓（ミニ水族館）見学 11：20 アドベンチャーシアター（映像学習） 11：45 昼食 12：50 館内自由見学 13：40 トイレ休憩、お土産購入等 13：50 記念撮影 14：00 埼玉県立川の博物館出発 15：00 ウェスタ川越到着・解散	

市内エコクラブの 活動報告

○ふくはら子どもエコクラブ
○ワンダーなんだあくらぶ



ふくはら子どもエコクラブの活動報告 2024年

1 ふくはら子どもエコクラブの概要

今年は昨年とほぼ同じメンバーでスタートして、メンバー20名とサポーター3名で活動をスタートさせました。ふくはら子どもエコクラブは今年で15年を迎えて、「皆で育んできた成長の足跡」と題して14年間の記録をまとめ発行しました。エコクラブではこの14年間で延べ302名が活動に参加し、実人員は87名で6年間参加した子どもも16名いました。このエコクラブは地域主体のエコクラブとして発足し、地域の課題を考え、地元に密着した多様な体験的環境学習を提供してきました。その活動が評価されて2015年には「彩の国埼玉環境大賞優秀賞」を受けました。地元の農家と連携して循環型農業の支援、自然の観察、地元の農産物の

利用、そして地元の文化を継承することをめざした活動を展開してきました。

今年の特徴は、毎年行っていたキャンプを雑木林がなくなったことで中止せざるを得なくなったこと、「落ち葉掃き農業」を行っている直売農家と連携して、トウモロコシ収穫体験などの農業支援を行ったこと、また、里山再生に取り組んでいる上松原の林で「昆虫さがし」を行ったことです。

活動の初めに年間計画

を作成して、4月から活動を行っています。

活動の費用は埼玉県の「こどもエコクラブ活動支援助成金」を活用しています。

こどもエコクラブの報告は、2024年1月から翌年の2月までの活動を対象に行います。

2 今年の活動内容

(1月) 循環型農業を支える「落ち葉掃き」

毎年木枯らしが吹いて枯れ葉が落ちる冬に恒例の「落ち葉掃き」を行います。今年は場所を変えて、雑木林の再生に取り組んでいる上松原の林で行いました。伝統的な方法で、熊手

ふくはら子どもエコクラブ 活動計画				2024年
月	活動	目的	内容	場所
4月	タケノコ掘り・竹細工	モウソウ竹を減らすために	タケノコ掘り、竹切り、竹細工	今上のヤマ
5月	ハイキング	体を鍛える	天覧山・多峯主山	飯能
6月	トウモロコシ収穫	伝統農法の野菜収穫	収穫体験、薪ストーブで茹で、薩摩粉・上新粉でのダンゴづくり	さかもとふあーむ
7月	虫さがし	自然の生きものに触れる	捕虫網での捕獲、講師や図鑑で鑑定、虫に触れる	上松原
8月	市の研修会	未定	体験型の環境学習	未定
10月	ネイチャーゲーム	楽しく自然を知る	遊びながら学ぶ自然と環境	森林計画地
11月	こどもエコフェスティバル	楽しく学習と発表	総合的な環境問題の学習と活動発表	未定
12月	コナラの植樹	林の再生を	林の再生、環境に配慮した調理実習(地粉で作る郷土食)	さかもとふあーむ
1月	落ち葉掃きとき火	伝統的な手入れ	循環型農業体験、環境に配慮した調理実習(有機野菜の調理)	上松原
3月	反省会	次年度のために	街歩き、クリーン活動、次年度活動	公民館

を用いて、落ち葉を集めて、林の中に積み上げました。これは翌年には腐葉土となり畑で使われて、元気な野菜を育てます。これが循環型農業で360年以上この福原の林と畑で行われてきたことです。



寒い時期に行う活動なので、枯れ木を燃やして体を温めます。そしてオキ火を使って地元でとれた野菜を使ったトン汁や耕福米で作った餅を焼いて食べます。



(2月) ネイチャーゲーム

林のことをもっと知りたくて、専門のインストラクターを招いて(仮称)森林公園計画地でネイチャーゲームをしました。

林の中で遊んでからゲームに取りかかります。



はじめに林で自分が感じるものに紙枠をおきます。それに感じたことを書きます。子どもの感性が発揮されます。大人が思いつかない個所や植物を見つけます。これだけでも林を別の視点から眺めることができます。

おやつタイムの後は、自然を見つめる目を養う「自然にないもの探し」をします。これは子どもだけでなく大人にも人気で、20m ほどの距離に周囲に紛れているオモチャを探します。結構ハイテンションになります。

(3月) 街歩き

1年間のまとめの活動になります。福原公民館に集合して福原の街を歩いてこどもエコクラブの取り組む地域の課題をこども目線で探します。県道を横切って福原パークに向います。ここは運動場と公園が隣同士になっており、公園の遊具で遊びます。

遊び飽きると公民館に戻っておやつタイム。県道の信号が遠いので移動に時間がかかります。



オヤツの後に不老川の親水護岸に行き、春の水は冷たいが子どもたちは平気で手足を浸しています。土手には春の使者のチョウが飛んでおり、素手では捕まえられません。

(4月) タケノコ堀と竹伐り・竹細工



コナラの林を再生する目的でモウソウ竹を伐採したヤマでタケノコ堀をしました。増えすぎたモウソウ竹を前もって減らす活動です。地面に頭を出したタケノコを協力して掘り出し、皮をむいて、七輪でお湯をわかしてゆでます。冷めたら、ゆでたタケノコは持ち帰って食べます。この他に増えすぎた竹を伐ります。こうすることでコナラの苗木に陽が当たり元気に育ちます。切った竹はハシ、皿、コップ、入れ物などに加工して楽しめます。



(5月) 天覧山・多峯主山にハイキング

気候が良くなった時期に体力育成と自然観察を兼ねて飯能市の天覧山・多峯主山にバスと電車に乗って行きました。公共交通機関の活用と切符を自分で買う、ハイキングの歩き方を知ることが目的です。

駅から歩いて登山口まで。そこから急な坂を上り天覧山に。そして急な下り坂や長い上り坂を経験して山頂に到達し、下の池でクロスジギンヤンマ捕獲を見学、池の中のオタマジャクシを観察しました。



東屋での昼食、時々のおやつタイム。最後は能仁寺前の公園で心行くまで遊んで、元来た道を歩き、バスと電車で福原まで帰ってきました。

（6月） トウモロコシの収穫体験とサツマ・焼きダンゴづくり

「落ち葉掃き農業」を行っている農家を支援するために、トウモロコシの収穫体験と郷土食のサツマダンゴと焼きダンゴづくりに挑戦しました。トウモロコシは収穫の方法を教えてください、コツは経験を積んでいるのであっという間に終了しました。

収穫したトウモロコシは、クッキングストーブで蒸して食べました。このストーブは林の枯れ木を燃やし煙が少ないのが特徴です。林をきれいにし、燃やして熱源にするのでエコな調理器です。



食べてから林で遊び、次に郷土食のサツマダンゴと焼きダンゴを作ります。サツマダンゴは昔のオヤツに食べられており、サツマイモの粉に水を加えて練って蒸します。粘土細工に似ているので楽しんで形を作り、これを蒸すと色が茶色から黒色になりますが、味はほんのり甘く美味しい。

焼きダンゴは小麦の粉を練って蒸してから、串にさして焼いて醤油をつけて食べる地元のオヤツです。丸めたダンゴに串を刺すのは子どもたちが各自行います。焼けたダンゴをほおばると素朴な味がします。

福原には様々な郷土食がありますが、季節に合わせて、自分で作って楽しめます。



（7月）不老川の生きもの調査

昔、日本一汚れた川は見違えるようにきれいになりました。しかし、夏には川が枯れる瀬切れを起こしていましたが、今年は水がとうとうと流れていました。そのため、夏の暑い日に学校そばの親水護岸から降りて川の生きもの調査をしました。



草の陰でナマズの子どもを見つけました。水質の判定は、見つかった水生生物が少なかったのでⅢ類となりました。調査の後、川石でダムをつくって暑さを忘れました。

（7月）林の虫さがし

福原の自然を知るために、夏の昆虫を探します。コウチュウの専門講師を招いて、毎年行っており 10 年以上の経験があります。観察場所は 3 カ所目ですが、50 種を超えるコウチュウなどを見つけることができました。

今年は新しい林での昆虫調査になり、カブトムシとカマキリを探して歩きました。



咬みあとや揺籃から昆虫を推測したり、樹液にくる珍しいハエをゲットしたり、昆虫に対する造詣が深く大人でも感心する内容です。

（8月）川越市こどもエコクラブ研修会

夏休みに、寄居の「川の博物館」でこどもエコクラブの研修会がありました。バスで荒川のそばの博物館で、埼玉県の地形をジオラマで説明してもらいました。また館内の展示や体験型の学習機器で楽しく学習できました。



（9月）埼玉県・こどもエコフェスティバルで発表

昨年から、上尾市のイオンモールで開催されることになった「SAITMA 環境フェア&こどもエコフェスティバル」に参加しました。今年は雨模様だったので屋内の体験ブースとなりました。

毎年発表を積み重ねており、自分たちが実践してきた多彩な活動を発表するので緊張せずに発表ができます。今年は「地元の環境を楽しく学び合うエコ活動」と題して、自然に触れ合い学び、林の再生のお手伝いと「落ち葉掃き」、たき火によるエコ調理の活動を6人のリレーで報告しました。

体験学習では、手動発電とプラごみ回収を体験し、ドングリ重さ当てなど楽しく学習しました。



（１０月）林の「下草刈り」

予定を変えて「下草刈り」をさかもとふぁーむの林で行いました。目的は、シノ竹刈とサツマイモ焼きです。「コナラの植樹」や「落ち葉掃き」のために、枯れ木を集めて燃やし、シノ竹を刈って林の林床をきれいにする事です。

下草刈り用の中鎌を使ってシノ竹を刈ります。まばらに生えているのと今夏に一度刈っているので伐りやすい竹が伸びており作業はしやすくなっています。刈ったシノ竹は集めて乾燥させて後で燃やすことになります。



枯れ木は昨年集めた枯れ木と今年集めた分を林でクッキングストーブを使って燃やします。ストーブの上に地元で収穫されたサツマイモを焼いて食べます。環境に配慮した調理になり、フードマイレージもゼロとなります。



（１２月）コナラの植樹

木々の葉が色づき始めてからコナラの苗木を林の中に植えつける活動を行います。林の中で日当たりのよい場所を選んで、敷地内にあるコナラの苗木を移植します。シノ竹で支柱を作り穴を掘ってから苗木を掘り出して移します。苗木は思ったより根が深く、掘り上げたら鉢に入れて運びます。

掘った穴に入れてから土をかけて安定にします。これで後は根づいて成長することを期待

します。



植林を終えたら、地域食のうどん作りをします。地粉を塩水で練って、手でこね、のし棒で延ばして、釜茹でします。たき火は集めた枯れ木を使います。薪で茹で上げた手作りのうどんの美味しさは格別です。



（1月）落ち葉掃き

下草刈りと枯れ木処理の終わった林で伝統の「落ち葉掃き」をしました。「落ち葉掃きの農業」に使うたい肥を作るために、林の枯れ葉を集めて農家の「たい肥置き場」へと運びます。今回は林と「たい肥置き場」が近いのでカゴに入れて、一輪車で運びます。



冬は寒さがこたえるので集まる前にストーブでたき火をします。伝統の熊手を使っての作業となります。感想しているので落ち葉は軽くなっています。昔ながらの大きな竹のかごに落ち葉を入れて上から踏みつけてできるだけ落ち葉を入れます。これは重くて大人も入っての持ち上げ一輪車で運びます。

この作業は疲れるので途中で休憩をとります。オヤツとしてストーブに上でモチを焼いて食べます。もち米は福田の幸福米でモチは手作りしました。落ち葉掃きを2回したら、ジビエを用いた豚汁を作ります。協力して野菜を切って、クッキングばさみで肉を切ってストーブにかけ枯れ木を燃やして煮込みます。



枯れ木を燃やしたストーブは火力が強いので、野菜は大きく切っても短時間で煮ることができます。竹のオワンとハシで美味しく食べました。おなかがいっぱいになったら、空中シーソーや木登りをして遊びます。

大勢で作業すると落葉もあっという間に減り地面が見えるようになり、農家にも喜ばれました。



(2月) ネイチャーゲーム：楽しみながら自然を知り活用する

春らしい穏やかな天気でジョイフルの裏の林でネイチャーゲームとストラップづくり

を行いました。

ナラ枯れの伐採木や枯れ葉の落ち葉を見ながら林の散策をして体を整えます。



準備ができたならストラップづくりの説明を受けて切った小枝にキリで穴をあけてネジを差し込みます。その後にボンドを木につけてから目玉の飾りを貼りつけます。自分でも枝を切って思い思いの枝を作り同じように飾りをつけます。最後に飾りひもをつけて完成です。子どもの感性が発揮される工作です。ストラップだけでなく長い枝を使って飾りを大きくする工夫もしています。



ストラップづくりを終えてから、ネイチャーゲームの設定が終わるまでぶんぶんゴマを行います。初めは上手いかなかったのですが、コツを呑み込めるとあっという間に上達して上手く回していました。最後はネイチャーゲームのカモフラージュです。10m の間に人工物を配置してそれを探して個数を当てるゲームです。1回で当てた子は経験値の差でしょうか。

いつもは作業の多く気配りも多いこどもエコクラブですが、今日はホッとできる一日でした。

こどもエコクラブ ワンダーなんだぁくらぶ 活動報告

栗原 薫（ワンダーなんだぁくらぶ事務局）

ワンダーなんだぁくらぶは2024年4月に発足した環境活動のクラブです。子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的としています。

自然の不思議「ワンダー」を「なんだぁ？」と、誰もがもつ好奇心で深め、おとなも子どもと一緒に楽しく環境について学び行動していこうと名づけました。

現在、大人35名こども35名の登録者で活動しています。

●第1回 2024.6.15 参加者32名.

アオダモの樹液は青く光る！
他の木だとうかな？



木や葉っぱのふしぎをあそんで知ろう！

木や葉っぱを触ったり、味あったり！
実験して、樹木医の岩谷せんせいに
木の不思議を教えてもらいました！



みんなでとってきた草や花を
コロコロして色染めしたよ



●第2回 2024.7.17 参加者31名.



少し雨がふったけど
がんばりました！

たばちゃん農園さんでおてつだい！

トウモロコシの収穫・片付けをしました。トウモロコシは1つの苗にいくつかできたうちの大きな1つを出荷用にするため、残った小さなものを収穫。収穫のしかたのコツを教えてもらったよ！



2024.8.23(金)9:30~11:00
わたしたちの雨水フォーラム連動企画
こどもと一緒にワークショップ
『雨水ってどこにいくの?』

せんせい：尾崎 昂嗣さん 雨水浸透の専門家！

第3回 参加者51名！
大盛況でした！



かまざりくんも参加め

土のかたさとしみ込み
具合もしらべたよ！



雨のしみ込み方を
しらべよう！

雨のふりかたが最近は変わって
きたこと。コンクリートや
アスファルトに降った雨は
どこにいくのかな？
水循環を知って雨水をムダにし
ないようにしよう！

クイズ、みんなわかったかな？
1年にどのくらい雨がふるんだろう？！

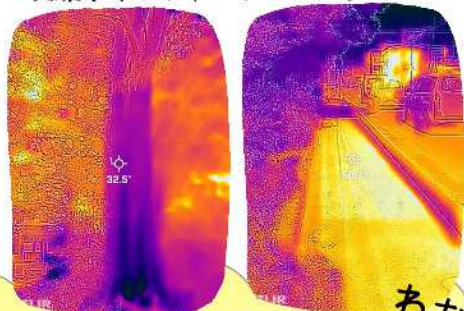


全然流れるスピードが違うね！



実験！インフィルトロメータ

日陰はすずしい



温度を調べよう！

あお！

サーモカメラで温度を調べてみた。
やっぱり道路はあつい黄色！だけど日陰の歩道は
そんなでもない。おなじアスファルトでも違うね。
大きな木の幹は紫だけど上の葉っぱは黄色。
日陰をつくってくれてありがとう！



●第4回 2024.10.14
参加者32名.

ネーチャーゲームで
自然ともだち！

秋の心地よい天気恵まれイベントは大盛況！ところざわシェアリングネーチャーの会のリーダーさんたちによるアイスブレイクで場が和んだ後、大人とこどもに分かれてカモフラージュゲームスタート！自然（庭）の中にあらかじめ置いておいた人工のものをいくつみつけられるか？のゲームです。大人たちもこどもから離れて自分の世界に没頭。こどもたちはゲーム後の「わかちあい」も積極的で、みつけやすい！にくい！を真剣に考えるまで小さな研究者！その後、場所を移してフィールドビンゴに挑戦！匂いのするもの、赤い葉っぱなどのお題がかかれたビンゴカードでビンゴするまで探します。最後まであきらめずに頑張るこどもたち。大人たちも自然とおしゃべりが弾み、楽しく宝探しが続きました。



フィールドビンゴ
宝探し！だね



カモフラージュゲーム
いくつ見つけれられるかな？



おとなも真剣！
虫たちも上手に隠れてるんだね



みんなで「わかちあい」
どんなことがあったか？
かんがえたか？
話してみんなの気づきを
わかちあったよ

●第5回 2025.2.11
シジュウカラの巣箱をつくろう！

*この活動は埼玉県のこどもエコクラブ活動支援事業助成金で運営しています。2025年度も継続の予定です。

登録用紙

					—					
--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--

記入日: 年 月 日

クラブ名					メンバー人数 (子ども)	人
					サポーター人数 (大人)	人
メンバー学年内訳 ※年齢・学年は、 年度当初(4月)時点をご記入ください。 ※高校生記入欄は、同年度のメンバーも各学年にあてはめて、記入してください。サポーターとしても登録できます。	幼児(3歳)	人	幼児(4歳)	人	幼児(5歳)	人
	小学1年生	人	小学2年生	人	小学3年生	人
	小学4年生	人	小学5年生	人	小学6年生	人
	中学1年生	人	中学2年生	人	中学3年生	人
	高校1年生	人	高校2年生	人	高校3年生	人
代表サポーターの 連絡先 活動に役立つ情報を定期的にEメールでお送りしています。必ずご登録ください。	氏名					
	住所 〒					
	TEL			FAX		
	E-mail					
活動ツール ※クラブ単位でいずれか1つを選び☑をしてください	☐ 不要 ☐ エコカード(幼児のみ) ※初回は送料無料ですが、追加する場合別途送料がかかります。					
	☐ メンバーズバッジ購入希望: 部 × 100 円(送料込) = 合計金額 円 ☐ メンバー手帳購入希望: 冊 × 100 円(送料込) = 合計金額 円 ☐ 応援マニュアル購入希望: 冊 × 100 円(送料込) = 合計金額 円 応援マニュアルは全国事務局よりメールでお送りいたします。ウェブサイトからもダウンロードいただけます。 冊子の「メンバー手帳」「応援マニュアル」はともに実費頒布(1冊 100円(送料込))しております。お届けの際に振込用紙を同封いたします。					
グループの種類 ※該当するものに☑をしてください。	☐ 近所や地域のお友達 ☐ 家族・親戚 ☐ ポーイ・ガールスカウト ☐ 子ども会 ☐ 児童館や公民館のクラブ ☐ 自治体の募集 ☐ 幼稚園・保育園(園名:) ☐ 学校の(□クラス・□クラブ・□委員会・□学年・□全校 →学校名:) * 総合学習としての実施についても記入してください。(□YES・□NO) * 異クラス混合の場合は学年へ、異学年混同は全校へ☑をしてください。 ☐ その他()					
取り組みたい 主な活動分野に☑をしてください(2つまで)。	☐ ごみ・リサイクル ☐ 生活・省エネ ☐ 水 ☐ 自然・生物多様性 ☐ 農業・栽培 ☐ その他()					

～大人の方へ～

●メンバー・サポーターになると

◇幼児のメンバーにはエコカードをお送りします。また、代表サポーターには応援マニュアル(PDF)をメールで送信いたします。冊子の応援マニュアルを希望される場合は、1冊 100円(送料込)で実施頒布いたします。

●注意事項

- ◇活動中の第三者への事故に対応するため、クラブの登録と同時に、全国事務局がメンバー・サポーターを対象とした賠償責任保険の加入手続きを行います。名簿の提出はメンバー・サポーターともに不要ですが、賠償責任保険の手続き上、名簿は必ずクラブで備えてください。
- ◇サポーターが複数のクラブを担当している場合には、発送物の重複を避けるため、2つ目以降のクラブでは、サポーター人数としてカウントしないでください。(クラブで備えていただく名簿には、名前を記載してください。)
- ◇高校生は、サポーターとしても登録ができます。(代表サポーターでの登録はできません。)
- ◇クラブ名、代表サポーターの連絡先、メンバーの人数、クラブの解散等、登録内容を変更する場合は、こどもエコクラブ全国事務局または地域事務局に必ず変更・解散届を提出してください。

●個人情報保護方針について● 公益財団法人日本環境協会(以下、当協会という。)は、個人情報を尊重し、個人情報保護に関する法令及びその他関係法令を遵守するとともに、当協会の個人情報保護基本方針に則って個人情報を取り扱います。

1. 個人情報の利用目的: 当協会は、こどもエコクラブ事業(以下、本事業という。)を行うにあたり、収集した個人情報を、本事業の支援にかかる環境関連情報の資料等の配布、賠償責任保険等の運用上必要な情報管理、サービス等改善のための事業(アンケート調査を含みます。)の実施、新たなサービスや環境関連情報の発信、その他当事業の実施に付随する業務を行う目的の範囲内で利用します。なお、利用目的の達成に必要な範囲で業者に業務を委託することがあります。ただし、必要な項目を正しくご記入いただけない場合には、適切な対応ができないこともございますのでご了承ください。2. 個人情報の共同利用: 収集した個人情報は、本事業の地域事務局として登録した都道府県及び市区町村と上記1.の利用目的においてのみ共同して利用します。3. 個人情報の管理: 収集した個人情報の漏洩、滅失、毀損または改ざんの防止、その他収集した情報の適切な管理を行います。また、事務局従業員及び業務委託先等に対して、個人情報の管理の指導と適切な監督を行います。4. 個人情報の訂正・削除・開示: 収集した個人情報は、ご本人から登録されている個人情報について訂正・削除・開示の請求があった場合は、迅速に対応します。第三者から開示の請求があった場合は、ご本人の承諾がない限り開示しません。ただし、個人情報保護法第23条第1項、第4項およびその他の法令の規定に基づく場合は、この限りではありません。情報の訂正・削除・開示を希望される場合は、当協会こどもエコクラブ全国事務局までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

●あなたのまちのこどもエコクラブ事務局

こどもエコクラブは、子どもたちが誰でも参加できる環境活動のクラブです
 こどもエコクラブ全国事務局 (公益財団法人 日本環境協会)
 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMMビル 5F
 TEL: 03-5829-6359 FAX: 03-5829-6190 E-Mail: j-ecoclub@jeas.or.jp
 ■こどもエコクラブウェブサイト: <https://www.j-ecoclub.jp/>
 「エコまる」は公益財団法人日本環境協会の登録商標です 「エコまる」



はじめよう!!

☆☆ こどもエコクラブ ☆☆



こどもエコクラブイメージキャラクター

エコまる

こどもエコクラブ

令和6年度

川越市こどもエコクラブ活動報告書

令和7年3月発行

編集 川越市環境部環境政策課

〒350-8601 川越市元町1丁目3番地1

TEL 049-224-5866（環境政策課直通）

FAX 049-225-9800